

つつみ

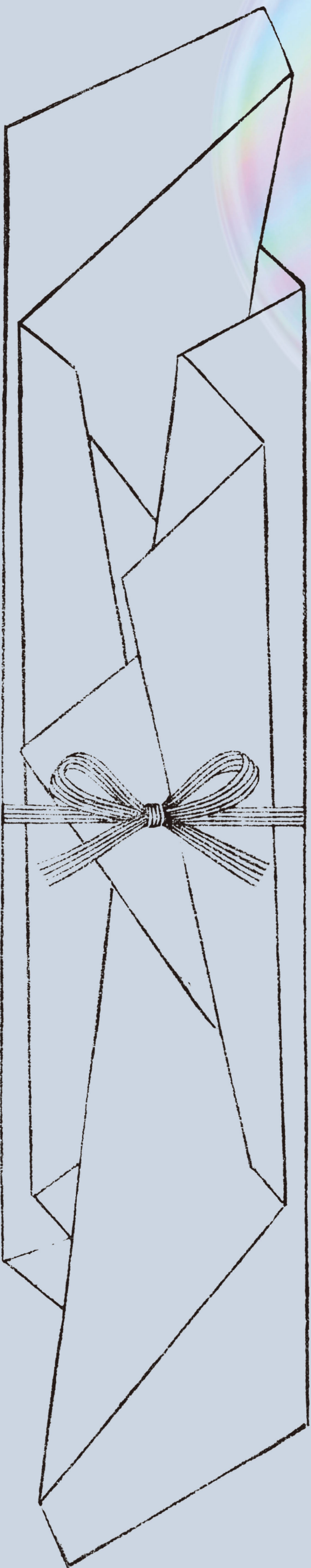
の

ことわり

伊勢貞丈「包之記」の研究

山口信博十折形デザイン研究所

折形は贈答の際の包みと結びの礼法である。
その折形のバリエーションな存在に伊勢貞丈の「包結図説」がある。
江戸の中期、天保十一年(1840)に出版されたもので、
「包之記」を上巻、「結之記」を下巻とし、合わせて「包結図説」と呼ばれている。
その「包之記」には十八種の折形が図入りで紹介されているが、
ほとんどが見開きに完成図と展開図が示されているのみである。
この完成図と展開図の間の、省略された手順をダイアグラム化し、
それを通して形態に働く思考の原形や文化的無意識を読み解くという試みの展覧会である。
さらに、山口信博と折形デザイン研究所が十年余にわたり、
古典とどのように向き合い、そこから飛躍して
具体的な形へいかに着地させてきたかの一端を、見ていただく展覧会でもある。



中と水引ふてもう一度、あつらふはた

2013年2月19日(火) ↓ 3月21日(木)

11:00 a.m. ↓ 7:00 p.m. 日曜・祝日休館 入場無料

会場／クリエイションギャラリーG8



クリエイションギャラリー G8
104-8001
東京都中央区銀座 8-4-17 リクルートGINZA8ビル1F
TEL.03-6835-2260 <http://rcc.recruit.co.jp/>



主催：クリエイションギャラリー G8
協力：株式会社 竹尾
会場構成：小泉誠